HOKUTY

微酸性電解水生成装置

Apia270

AP270型

取扱説明書

安全上の注意事項 2～4ページ

ご使用になる前に 5ページ

各部の名称 6ページ

接続する 7ページ

微酸性電解水をつくる 8～10ページ

使い終わったら 11ページ

アラームランプの点灯 12～13ページ

特殊設定 14ページ

水道コックの取扱い 15ページ

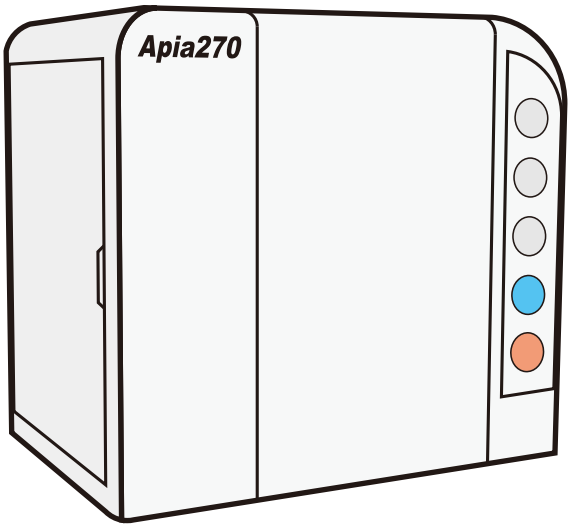
トラブルシューティング 16ページ

製品仕様 17ページ

保証とアフターサービス 18ページ

お買い上げいただきありがとうございます。

「Apia270」は手軽に微酸性電解水を連続生成する装置です。本装置を正しくご使用いただくため、ご使用前に必ず本誌をお読みいただき安全にご使用ください。



保証書付

安全上の注意事項

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。本書では、安全上の注意事項のランクを「警告」「注意」として区別してあります。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

なお 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■絵表示例

一般的な禁止事項　分解禁止	この図記号は禁止（してはいけないこと）を示しています。 ⃠の中に具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な禁止事項）が描かれています。 **一般的な禁止は、右の記号で表示します。**
一般的な強制事項　電源プラグを抜く	この図記号は強制（必ずしなければならないこと）を示しています。 ●の中に具体的な指示内容（左図の場合は一般的な強制事項）が描かれています。 **一般的な強制は、右の記号で表示します。**

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

重要警告事項

警告

カバーは絶対に外さないでください。
内部には電圧回路があり、誤って触れると感電により、死亡または重傷を負う危険性があります。

装置から、異音、異臭、発煙、発火が発生したときは、装置をすぐに停止して電源プラグを抜いてください。
装置から、異臭、異音、発煙、発火が発生したときは、装置をすぐに停止して電源プラグを抜いてください。そしてお買い上げの販売店、または弊社にご連絡ください。万一、火災になった場合は消火器、または水などで消火してください。

Ａｐｉａ専用原液の取扱いには、十分注意してください。
取扱いの際には、ゴム手袋等を着用し、原液がかからないように注意してください。また、取扱い後は必ず手を洗ってください。
目に入ると、失明や視力低下をおこすおそれがあります。
・目に入った場合は、目を擦らないで直ちに水道水で１５分間以上洗い流し、医師の診断を受けてください。
飲み込んだり、皮膚に付着したりすると炎症、傷害をおこすおそれがあります。
・誤って飲んだ場合は、できるだけ多量の水を飲み、直ちに医師の診断を受けてください。
・皮膚に付着した場合は、直ちに付着部あるいは接触部を多量の水道水で十分に洗い流してください。

接続上の注意事項

注意

交流１００Ｖ以外の電圧では使用しないでください。
火災、感電のおそれがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。

電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると中の芯線が断線したり露出するなど火災、感電のおそれがあります。

安全上の注意事項（つづき）

接続上の注意事項

⚠ 注意

電源プラグ・コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、絶対に使用しないでください。
火災、感電、ショートのおそれがあります。

電源プラグ・コードを傷つけたり、加工したりしないでください。
火災、感電、ショートのおそれがあります。
- 折り曲げたり、ねじったりしない。
- 熱い所へ近づけない。
- 強い力で引っ張らない。
- 釘やステップルで固定しない。
- 重い物に挟み込まない。
- 高い所から落下させない。

装置の二次側（微酸性電解水出口側）に流れを邪魔するバルブや絞りを付けないでください。
装置の故障の原因になることがあります。

使用上の注意事項

⚠ 注意

装置を起動する前に負荷側の安全を確認し、この取扱説明書に従って運転操作を行ってください。
不用意な給電は、感電、事故のおそれがあります。

装置周辺での喫煙、火気の使用はしないでください。
爆発、破損により、けが、火災のおそれがあります。

原水は、飲料水基準を満たした水、飲用地下水等を使用してください。
装置の故障や正しい性状の微酸性電解水が生成できないことがあります。また、一部の金属イオンを含んだ水では異物や着色の原因になることがあります。

原水は、５～３５℃の水を使用してください。
お湯等を使用すると、装置の故障や正しい性状の微酸性電解水が生成できないことがあります。

原水の水圧は０.０５ＭＰａ～０.２ＭＰａで使用してください。
原水の供給異常により正しい性状の微酸性電解水が生成できないことがあります。

本装置が対応している原水の硬度は６０ｍｇ／Ｌ～１８０ｍｇ／Ｌです。
本装置は、原水の硬度が軟水～硬水に対応しています。超軟水・超硬水の場合は、事前に弊社にご相談ください。

原液は、Ａｐｉａ専用原液以外使用しないでください。
装置の故障や正しい性状の微酸性電解水が生成できないことがあります。

Ａｐｉａ専用原液の貯蔵、取扱いには十分注意してください。
塩素ガスが発生し、体調を損なうおそれがあります。
- 用途外に使用しないでください。
- 塩素系薬剤と混合しないでください。
- 原液を他の容器に小分けまたは、移し替えて使用しないでください。
- 子どもの手の届く所に置かないでください。
- 使用後の容器は他の用途に使用しないでください。また、空容器は挿入管を付けたまま廃棄してください。
- 直射日光を避け、換気の良い場所に保管してください。

腐食、変質、変色、サビのおそれがあります。
- 誤ってこぼした場合はすみやかに拭取り、水に濡らした布などで良く拭いてください。
- 原液を廃棄する場合は多量の水で薄めながら廃棄してください。

Ａｐｉａ専用原液のキャップの開閉、本体へのセット時には容器の側面を強く押さないでください。
強い力で押さえると原液が噴出するおそれがあります。

濡れた手で操作しないでください。
感電のおそれがあります。また、装置の故障の原因になることがあります。

安全上の注意事項（つづき）

使用上の注意事項

注意	
❗	**微酸性電解水を生成・使用するときは、換気の良い所で行ってください。** 微量の塩素ガス及び水素ガスが発生し、体調を損なうおそれがあります。
❗	**ステンレス製のシンクで微酸性電解水を生成・使用・排水した後は、水道水をシンクに流してください。** サビ、変色の原因になることがあります。
❗	**金属製容器（鉄・真鍮・アルミ・銅・ステンレスなど）に使用した後は、水道水ですすいでください。** サビ、変色の原因になることがあります。
🚫	**微酸性電解水は、飲用ではありません。除菌・殺菌以外に使用しないでください。** 体調を損なうおそれがあります。
🚫	**生成した微酸性電解水を原水として使用し、再度生成しないでください。また、微酸性電解水を台所用漂白剤などと併用しないでください。** 塩素ガスが発生し、体調を損なうおそれがあります。
🚫	**子どもに使わせたり、手の届く所に置かないでください。** けがや体調を損なうおそれがあります。
🚫	**微酸性電解水を指輪などのアクセサリーにつけないでください。** 変色の原因になることがあります。誤ってついた場合は水道水で洗い流してください。
🚫	**装置を不安定な場所や高い所に置かないでください。** 転倒・落下によりけがをするおそれがあります。
🚫	**装置の上に物を乗せたり、衝撃をあたえないでください。** 装置の故障の原因になることがあります。
❗	**本装置は日本国内での使用を目的に製造されています。** 本装置を国外で使用すると、電圧、使用環境などが異なり発煙、発火の原因になることがあります。国外で使用する場合は、事前に弊社に御相談ください。

保守・点検上の注意事項

注意	
🚫	**教育を受けたサービスマン以外は、カバーを外さないでください。** 装置の修理、故障部品の交換は、お買い上げの販売店、または弊社営業担当に依頼してください。 カバーを開けると感電、やけどのおそれがあります。
❗	**本装置の電解槽部は消耗部品です。運転時間が４０００時間を超えたとき、または使用開始から１年を経過したときは、電解槽部の交換が必要になる場合があります。**
🚫	**装置を水につけたり、水洗いしたり、操作パネルに水をかけたりしないでください。** 火災、感電、ショートのおそれがあります。
❗	**装置が汚れたときは、電源を切った状態で、からぶきまたは、水を含ませ、よくしぼった布、ティッシュペーパーで拭き取ってください。** 洗剤、シンナー、ベンジン、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきん、ナイロンたわし、漂白剤などを使用すると装置の故障の原因になることがあります。

微酸性電解水について。

正式名称：微酸性次亜塩素酸水

- ●HOCL濃度※：10～80mg／L
- ●pH：5～6.5
- ●原料：希塩酸
- ●食品添加物対応（'02.6.10 官報 第3378号）

※本装置で生成される微酸性電解水の水質
HOCL濃度：40～50mg／L（原水硬度70mg／L、pH7、水圧0.15MPaの場合）

特長1 殺菌・除菌効果に速効性がある。

微酸性電解水には、次亜塩素酸（HOCL）が多く含まれているため、細菌・カビ菌・ウィルスなどにすばやく殺菌、除菌効果を示します。

特長2 成分がほとんど残留しないため安心。

微酸性電解水は、除菌をすると有効成分は消失し、同時に塩などの残留物が残らないためベタつきを生じる心配がなく、どんな用途にも使うことができます。

特長3 食品を直接殺菌。

微酸性電解水は、味や臭いがほとんどないので、生野菜や果物、肉、魚介類などの食品の品質をおとすことなく直接殺菌することができます。

特長4 環境にやさしい。

有機物に触れると普通の水に戻るので、環境に影響をあたえません。また、発がん性物質とされるクロロホルムを生成しないのでとても安全です。

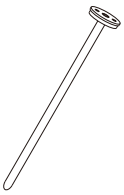
特長5 使用目的を選ばない。

細菌が原因となるイヤな臭いには、消臭効果を発揮します。また、生成した微酸性電解水を空中に噴霧することにより室内を常にクリーンに保つことができます。

同梱品の確認

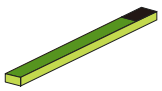
① Apia専用原液

② 原液用挿入管 Oリング付

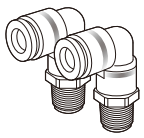


③ テストペーパー

④ pH試験紙



⑤ 継手

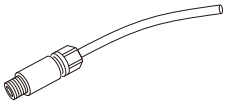


⑥ 入口用チューブ 片側ナット付

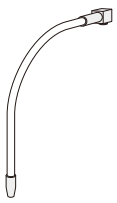
⑦ 出口用チューブ

⑧ シリンジ

⑨ φ6用継手



⑩ 自在ホース※

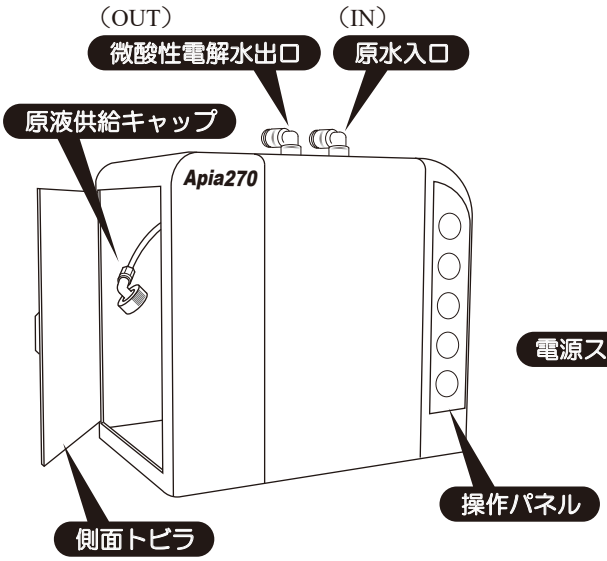


（※オプション品）

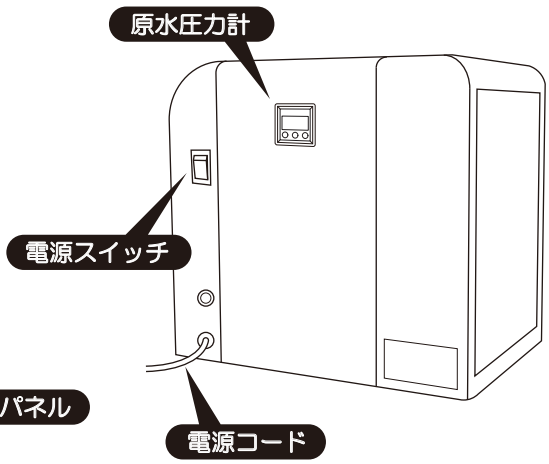
各部の名称

Apia270本体

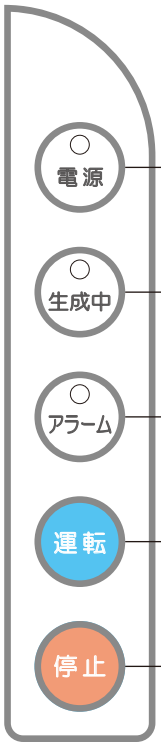
本体正面



本体背面



操作パネル詳細



電源ランプ（緑）
電源スイッチ「ON」で点灯。「OFF」で消灯。

生成中ランプ（緑）
「運転」ボタンで点灯。「停止」ボタンで消灯。

アラームランプ（赤）
異常時に点灯。（原液切れ、原水の給水異常、機器の故障）

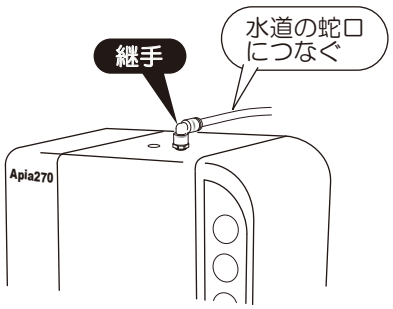
運転ボタン
運転を開始します。

停止ボタン
運転を停止します。

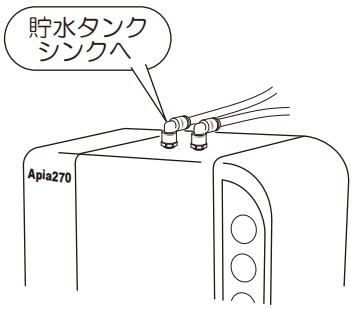
接続する

1 本体にチューブを取付ける。

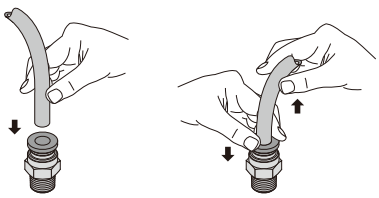
① 原水入口（IN）側に継手を取付け、耐圧チューブを接続する。



② 微酸性電解水出口（OUT）側に継手を取付け、耐圧チューブを接続する。

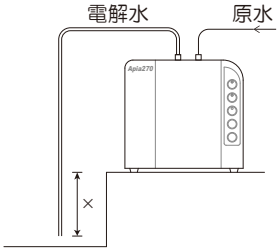


チューブの着脱方法



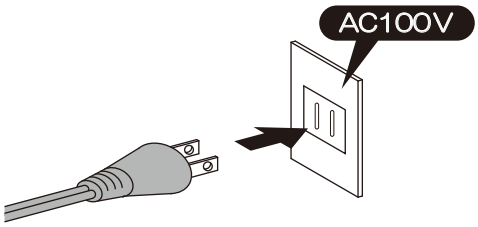
チューブを取外す場合は、開放リングを押しながらチューブを引き抜いてください。

※設置時の注意事項



出口側のチューブ先端を装置底面より低い位置で使用しないでください。サイフォン現象により、装置停止後に専用原液が流れ出てしまい空になることがあります。

2 電源プラグをコンセントに差し込む。



※次のような場所には設置しないでください。本品の故障や破損の原因となります。

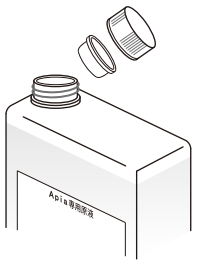
- 直射日光の当たる場所
- 水や雨に濡れる場所
- 不特定多数の人が容易に手を触れる場所
- 40℃以上になる場所
- 不安定な場所
- 凍結のおそれのある場所
- 油煙の発生する場所
- 火気の近く
- 換気の悪い場所
- ほこりが多い場所
- 湿気が多い場所
- 振動のある場所

※ご使用になる地域や配管によっては、異物の混入等による水の汚れを除去するため、装置の一次側（原水入口側）にストレーナー（オプション）の設置が必要になる場合があります。
※装置の二次側（微酸性電解水出口側）に流れを邪魔するバルブや絞りを付けないでください。
※外部との配管接続は、お買い上げの販売店にご相談ください。

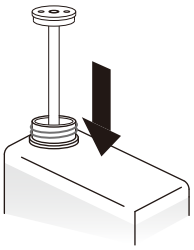
微酸性電解水をつくる

1 専用原液をセットする。※

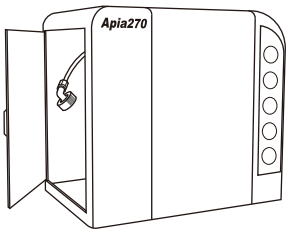
① 専用原液のキャップを開ける。



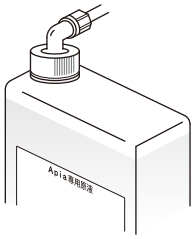
② 容器に原液用挿入管を奥まで差し込む。



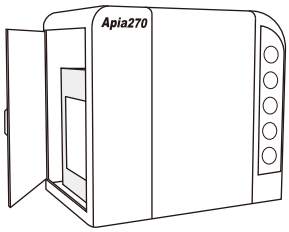
③トビラを開け、原液供給キャップを取出す。



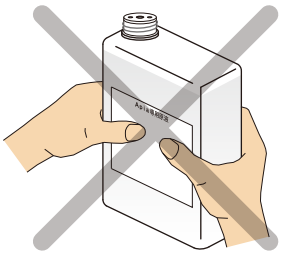
④ 原液供給キャップを水平に取付ける。（※）



⑤ 専用原液をセットしたらトビラを閉める。

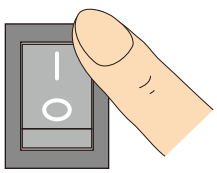


容器を持つときは、側面を強く押さないでください。



2 電源を入れる。

背面の電源スイッチを「ON」にする。



電源スイッチを入れると、
電源ランプが緑色に点灯します。

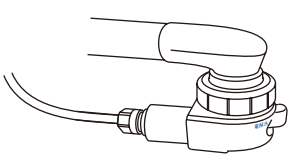
※原液供給キャップを取付ける際は、斜めにキャップを閉めないでください。また、原液供給キャップの締めすぎには注意してください。キャップが割れていたり亀裂があると原液が正常に供給されない場合があります。
※原液供給キャップが割れてしまった場合は、付属の予備キャップと交換してください。
※Apia専用原液の取扱いには十分注意してください。

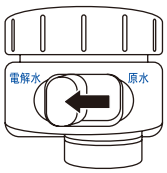
- 取扱いの際には、原液がかからないように注意してください。また、取扱い後は手を洗ってください。
- 用途外に使用しないでください。
- 使用済みの容器は、他の用途に使用しないでください。また、空容器は挿入管を付けたまま廃棄してください。
- 誤ってこぼした場合はすみやかに拭取り、水に濡らした布などで良く拭いてください。
- 容器を倒したり傾けたりしないでください。
- 本品の使用は十分な換気の下で取扱いください。

→2ページ（安全上の注意事項）参照

3 水道水を供給する。

水道コックを「電解水」に切り替え、蛇口を開ける。



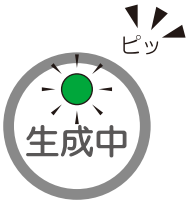


（水道口セットを取り付けた場合）

流　　量：270L／H以上
対応硬度：60mg／L～180mg／L

4 運転する。

操作パネルの「運転」ボタンを押す。



運転ボタンを押すと、
生成中ランプが緑色に点灯します。

（電磁弁が開き水道水が流れます）

※はじめてお使いになる場合･･･

初回運転時は「運転」ボタンを押した数秒後にアラーム音が鳴りアラームランプが点灯します。
警告音が鳴ったら電源を切り、装置の再起動、運転を繰り返し行ってください。
（配管洗浄後も同じ動作が必要になる場合があります）

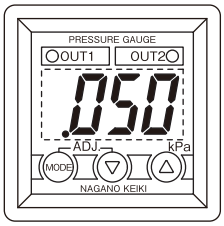
※出口用チューブが貯水タンク等に接続されている事を確認してから運転してください。
※貯水タンクに接続する場合は、塩ビ・PE・FRP等の樹脂タンクをご使用ください。
※運転中はトビラを開けないでください。

5 水圧を確認する。

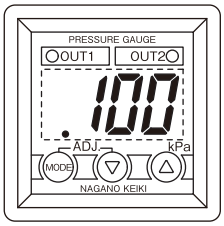
本体背面の圧力表示を確認しながら蛇口（バルブ等）で水圧を調整する。

【使用範囲：0.05MPa～0.2MPa（0.05Mpa以上の安定した圧力でご使用ください）】

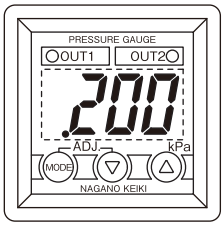
表示例



0.05MPa



0.1MPa



0.2MPa

※原水圧力が設定値（0.05Mpa）未満の場合はアラームが発生します。原水の供給を確認した後、再度運転を開始してください。水圧が足りない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

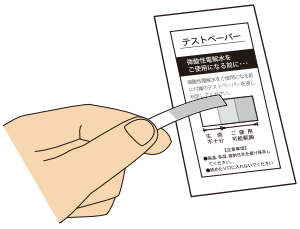
※通常時「.000～.***（数字）」以外の表示（例「FFF」等）の場合、圧力スイッチの故障が考えられます。装置を直ちに停止してください。（原水が流れていない状態で電解してしまい危険です）

※圧力スイッチの設定変更は、機器の破損を招くおそれがあるので専門の知識のある方以外は操作しないでください。

6 水質を確認する。

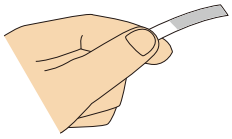
できあがった水に試験紙を浸けて水質の確認をする。

テストペーパー



袋に記載されている色と比較

pH試験紙



ブック裏面の色見本と比較

試験紙の色が
pH5～6.5
微酸性電解水の範囲内で
正常です。

pH値が低い
→ 16 ページへ

※テストペーパー、pH試験紙は、高温、多湿、直射日光を避け保存してください。
※微酸性電解水は飲用ではありません。除菌・殺菌以外には使用しないでください。
※本装置は、外部からの信号により制御を行うことが可能です。詳細はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

使い終わったら

1 停止する。

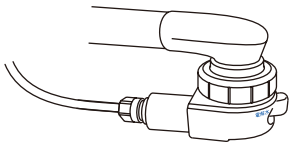
操作パネルの「停止」ボタンを押す。

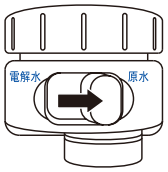
停止ボタンを押すと、
生成中ランプが消灯します。

（電磁弁が閉じ流れが止まります）

2 水道水の供給を止める。

水道コックを「原水」に切り替え、蛇口を閉める。

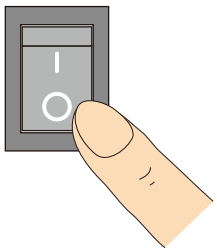




（水道口セットを取り付けた場合）

3 電源を切る。

背面の電源スイッチを「OFF」にする。



電源スイッチを切ると、
電源ランプが消灯します。

※ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
※長期間ご使用にならないときは、配管内部に残った原液を抜くための水洗いをおこなってください。専用原液の代わりに水道水を使用して５分以上運転してください。

アラームランプの点灯（専用原液を交換する）

1 アラームの点灯

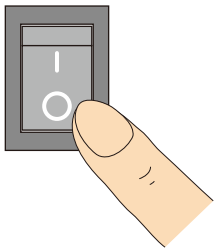
アラームランプの点灯には、以下の３点の場合があります。

原液切れ　給水異常　装置異常

専用原液の残量不足や異常が発生するとアラーム音が鳴り、アラームランプが赤色に点灯します。（※）

2 電源を切る。

背面の電源スイッチを「OFF」にして装置をリセットする。



電源スイッチを切ると、
電源ランプが消灯します。

3 専用原液を交換する。

・原液を交換したら、再度電源スイッチを「ON」にして運転を再開してください。
【専用原液をセットする】→ 8 ページへ

・原液が多量に残っている場合は、給水異常の可能性があります。
【水道水を供給する】→ 9 ページへ

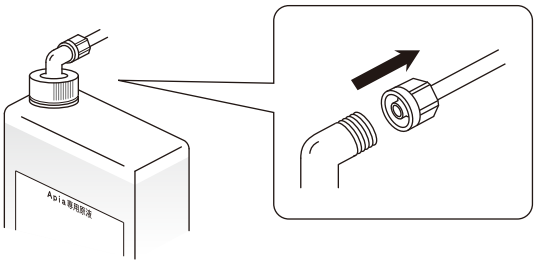
（上記２つにあてはまらない場合は機器の故障が考えられます。
直ちに電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。）

※アラームが点灯したら、一度装置をリセットしてそれぞれ対応してください。
→１６ページ（トラブルシューティング）参照
※アラームが点灯したら、装置をリセットして再度「運転」ボタンを押すまで微酸性電解水は生成されません。
※初回運転時は「運転」ボタンを押した数秒後にアラーム音が鳴りアラームランプが点灯します。警告音が鳴ったら電源を切り、装置の再起動、運転を繰り返し行ってください。（配管洗浄後も同じ動作が必要になる場合があります）

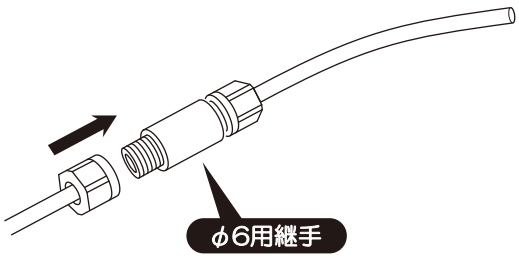
アラームランプの点灯（原液供給異常）

初回運転時や専用原液交換の際、チューブ内にエアが入りポンプが原液を吸い上げないときの対応

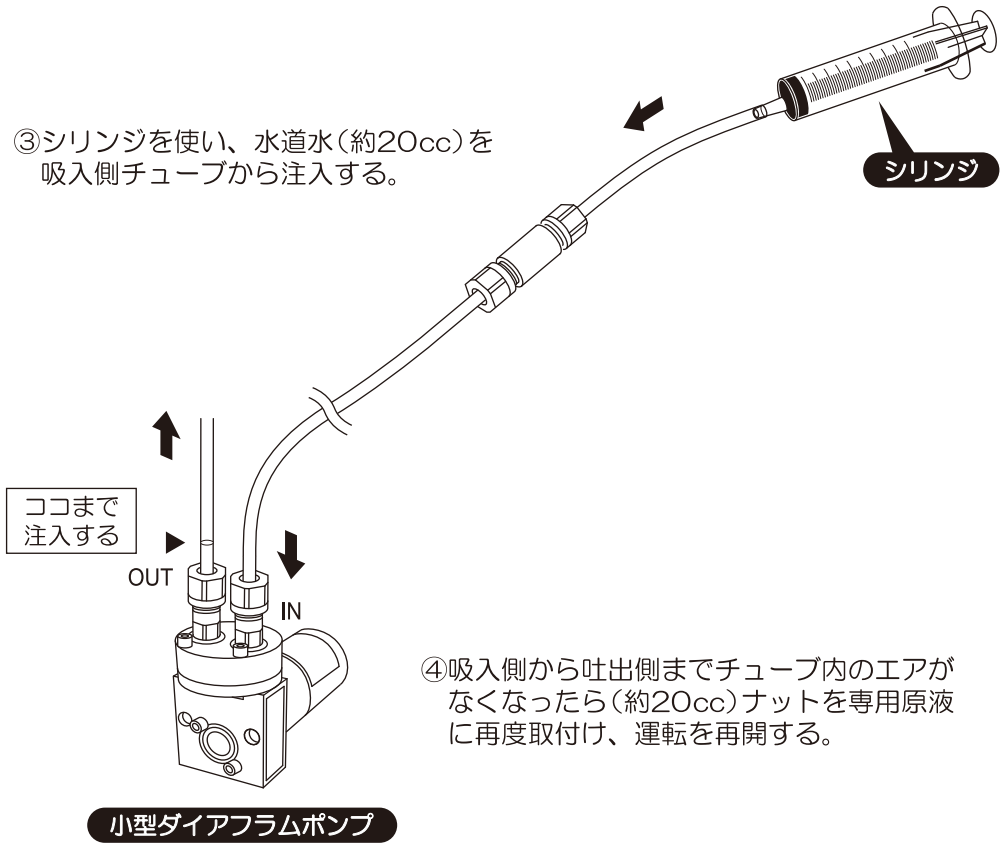
①装置を停止して専用原液からチューブを取外す。



②付属のφ6用継手に取外したチューブを取付ける。



③シリンジを使い、水道水（約20cc）を吸入側チューブから注入する。



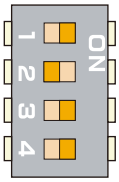
④吸入側から吐出側までチューブ内のエアがなくなったら（約20cc）ナットを専用原液に再度取付け、運転を再開する。

※原液は希塩酸ですので作業には十分注意してください。
※原液がこぼれた場合は、すみやかに拭取り水に濡らした布などで良く拭いてください。
※運転再開後にアラームが発生した場合、一旦電源を切り装置の再起動、運転を繰り返し行ってください。

水質による設定

本製品には、制御盤内部（右側面）に水道水の水質による設定を行えるディップスイッチを設けています。ディップスイッチは出荷時に調整されていますが、装置を移設された等、やむを得ず水質設定を変更される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

初期設定



No.1　「OFF」状態・・・・・ＳＯＦＴ「軟水」
No.2　「ON」 状態・・・・・ＮＯＲＭ「標準」
No.3　「OFF」状態・・・・・ＨＡＲＤ「硬水」
No.4　「OFF」状態・・・・・未使用

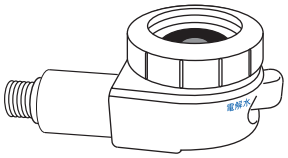
※ディップスイッチは、２ヶ所以上同時に「ON」させないでください。
※ディップスイッチは、硬度範囲内でのｐＨ、ＡＣＣ調整です。超硬水、超軟水では使用できません。

水道コックの取扱い

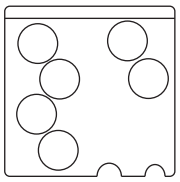
1 水道コックを取り付ける。

蛇口に適合するアダプターを選び、水道コックを取り付ける。

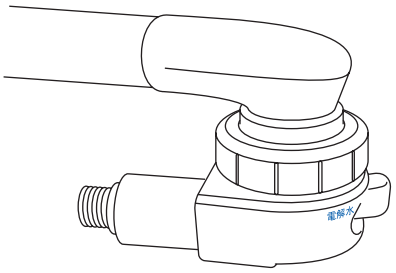
（水道コックの取付方法は、アダプター裏面を参照してください）



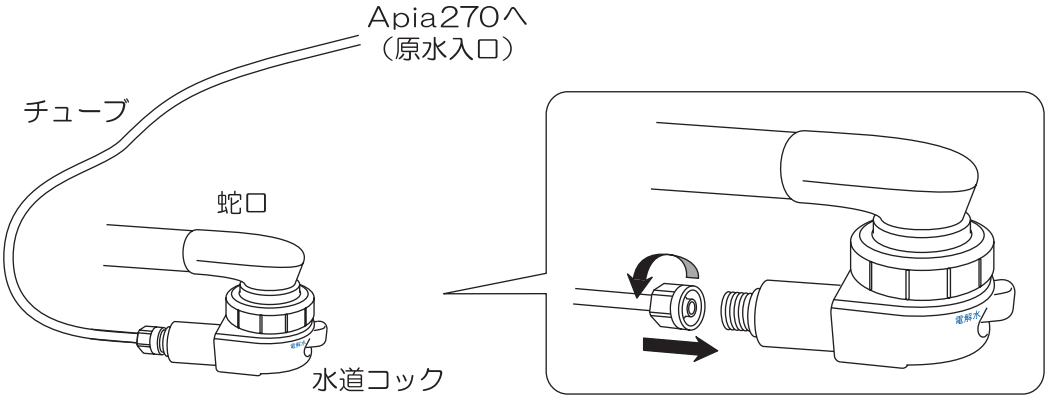
水道コック



アダプター

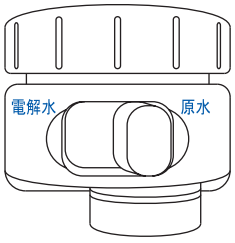


2 チューブを取り付ける



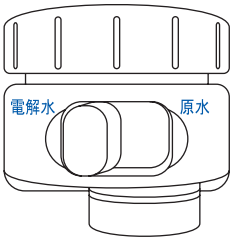
電解水 ⇨ 原水

水道水が流れます。



電解水 ⇦ 原水

Apia270に水道水が供給されます。



トラブルシューティング

こんなときは	考えられる原因	対処法
電源スイッチを入れても電源ランプが点灯しない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込み、再度「電源スイッチ」を入れてください。
運転ボタンを押しても運転しない。	外部からの信号が入っている。	外部信号を優先します。
	機器の故障。	お買い上げの販売店にご相談ください。
アラームが点灯している。 （アラーム音がなっている）	Ａｐｉａ専用原液の残量不足。	原液を交換して、再度運転を開始してください。
	Ｏリングが原液用挿入管からはずれている。	原液用挿入管にＯリングを取付けてから原液をセットしてください。
	原液供給キャップが斜めに取付けられている。	原液供給キャップを水平に取付けてください。
	原液供給キャップが割れている。または亀裂がある。	新しい原液供給キャップに交換してください。
	正しい原液がセットされていない。	専用原液をセットして、再度運転を開始してください。
	原水の供給不足（圧力SW off） （原水圧力０．０５MPa以下）	元栓（バルブ）を確認し、原水が供給されたら再度運転を開始してください。
	機器の故障。	お買い上げの販売店にご相談ください。
停止ボタンを押しても停止しない。	外部からの信号が入っている。	外部信号を優先します。
	機器の故障。	お買い上げの販売店にご相談ください。
本体から水が漏れてきた。	機器の故障。接続部のゆるみ等。	運転を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。
運転中に電源が切れてしまった。	電源プラグを抜いた。	電源プラグをコンセントに差し込み、再度「運転ボタン」を押してください。
	電源スイッチを切ってしまった。	「電源スイッチ」を入れて、再度「運転ボタン」を押してください。
	停電になった。	
テストペーパー、ｐＨ試験紙が指定色（微酸性電解水の範囲内）にならない。	Ａｐｉａ専用原液の不足。	原液を交換してください。
	運転開始直後に測定した。	数十秒置いてから測定してください。
	原水の硬度が60mg／L以下。または、180mg／L以上。	原水の硬度を確認してください。水質の設定を変更される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	機器の故障。電解槽の寿命。	お買い上げの販売店にご相談ください。
運転音が気になる。	原液の供給音等。	異常な音がする場合は、電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。
運転中に塩素臭がする。又は、強い塩素臭がする。	若干の塩素臭は微酸性電解水の水質によるもの。	特に問題はありません。換気を十分におこなってください。強い塩素臭がする場合は、直ちに電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。

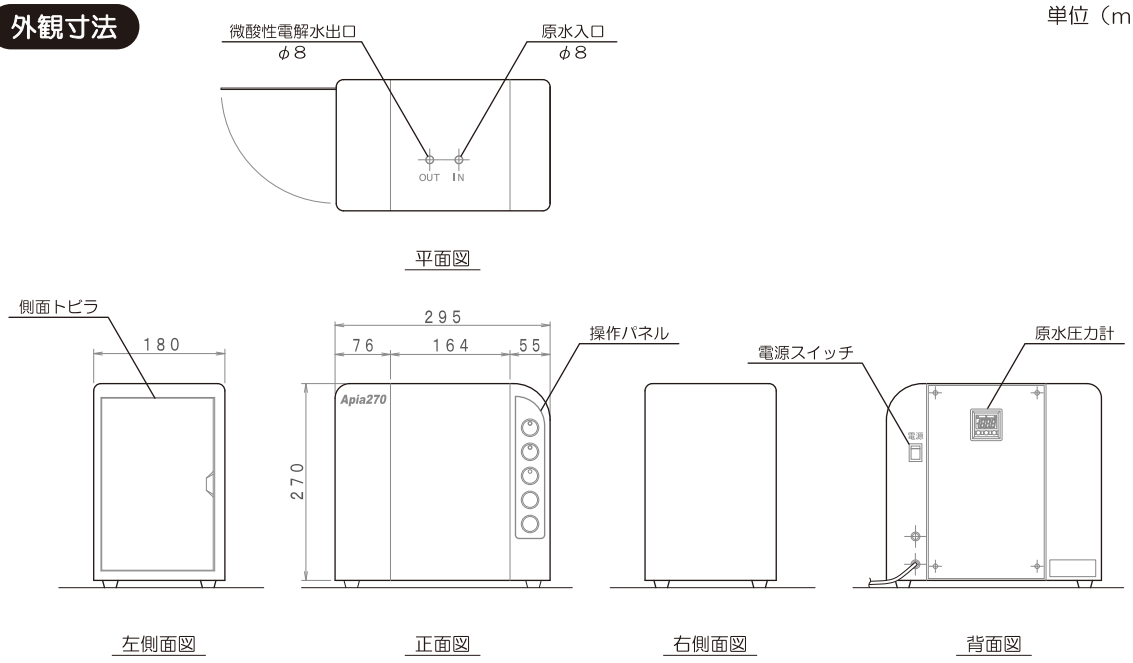
製品仕様

Apia270

●型　　式：AP-270
●電源電圧：AC100V（50／60Hz）
●消費電力：50W
●サ イ ズ：W295×D180×H270（mm）
●重　　量：約4kg
●標準能力：270L／h ±20%
●HOCL濃度：40～50ppm
●使用圧力：0.2MPa ±10%（最低圧力 0.05MPa）
●専用原液使用量：125ml／h
●電源コードの長さ：約2m
●入出口用チューブ：ポリエチレン（φ8）

外観寸法

単位（mm）



Apia270専用原液

●主 成 分：9%希塩酸
●容　　量：1L

●別 売 品
Apia専用原液（1L×3本セット）
挿入管、テストペーパー、予備キャップ付

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証規定

1．取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に基づくお客様の正常なご使用状態のもとで、保証期間内に万一故障した場合、無料にて故障個所を当社所定の方法で修理もしくは同等品と交換させていただきますので、お買い上げ販売店、または直接弊社に保証書をご提示の上ご依頼ください。
修理を行うために交換された旧部品、または機械の一部にはお返しできないものがあります。
2．本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責任を負わないものとします。
3．次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
①本保証書のご提示がない場合。
②本保証書に保証期間、型名または品名、および製造番号または保証番号、販売店名の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。
③お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等、お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。
④お客様による使用上の誤り、あるいは不当な改造、修理による故障および損傷。
⑤火災、塩害、ガス害、地震、落雷、凍結および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
⑥本製品に接続している当社指定以外の機器、部品、および消耗品に起因する故障および損傷。
⑦正常なご使用方法でも消耗部品が自然消耗、摩耗、劣化した場合。（本製品の電解槽部は消耗部品です。保証期間中でも、運転時間が4000時間を超えた場合での電解槽交換は有料となります。）
⑧離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合、出張に要する実費を申し受けます。
4．ご不明の点は、お買い上げの販売店または弊社にご相談ください。
5．本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

保証書

製品名		
製造番号		
保証期間		※お買い上げ日　年　月　日から1年間
※お客様	ご住所	〒
	お名前	（ふりがな）
	TEL	市外局番　（　）

見本

この保証書は、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。
お買い上げの日から左記期間中、故障が発生した場合、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または弊社にご依頼ください。

※販売店	印

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は、再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

アフターサービス

弊社では、本製品をご購入いただきましたお客様に、補償期間を終了した製品でも安心してご使用いただけますよう、また不慮の修理費用を軽減することを目的に保守契約をお奨めしています。設置状況、使用環境等で思わぬトラブルが発生してしまうこともあります。安心とコストの両面からこの機会に保守契約に加入されることをお奨め致します。ご契約、詳細につきましては、弊社営業担当にご相談ください。

MEMO

■製造元
株式会社 ホクエツ

〒242-0008
神奈川県大和市中央林間西三丁目9番21号
TEL　046（276）4690
FAX　046（275）2257
URL　https://www.hokuty.co.jp

⚠ 安全・ご使用上に関するご注意

●水道水の水質（ｐＨ・アルカリ風・硬度等）や使用環境（水温等）、水量等によって仕様範囲の微酸性電解水が生成されない場合があります。●電解部の寿命は水質、使用環境、使用頻度等によって大幅に短くなることがあります。●ご使用の前に必ず「取扱説明書」を熟読の上、正しくお使いください。●仕様及び外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

■製品に関するお問い合わせ、消耗品のお求めは･･･